

日本経団連事務局におけるサマータイム勤務(エコワーク) の実施について

2007年9月26日
日本経済団体連合会
産業第三本部長 岩間芳仁

1. 実施内容(詳細は別紙1参照)

(1) 名称

「エコワーク月間」

(2) 実施期間

2007年8月1日(水)～8月31日(金)

(3) 始業・終業時間を通常より1時間繰り上げ、以下の冷房、照明、エレベータ等のエネルギー消費削減に努める。

[エネルギー消費削減の例]

- ・冷房の稼働時間の短縮
- ・照明時間の短縮
- ・エレベータの稼働時間の短縮
- ・OA機器等の節電
- ・家庭での省エネ運動の奨励 など

2. 効果

始業・終業時間を通常より1時間繰り上げることにより、冷房、照明、エレベータ等のエネルギー消費削減に努めた結果、事務局全体で炭酸ガスの排出量(エネルギー消費量から算出)を前年同月比で5%(6トン)削減した。今年8月は例年になく猛暑で平均気温が29.0度となったが、外気温度が昨年並み(2006年8月の平均気温は27.5度)であれば、前年同月比で10%(12トン)減らしたことになる(詳細は別紙2参照)。

3. サマータイムの導入に向けて

サマータイムは、年2回の時間の切り替えに際し、政府から省エネに向けたメッセージを集中的に発信することで、国民に地球温暖化防止のための具体的な行動を促す機会を提供する手段として活用できる。また、サマータイムは、世界70カ国以上で採用されており、G8で採用していないのは日本だけである。わが国としてもサマータイムを導入すべきである。

以上

エコワーク月間の実施について
—勤務時間の繰り上げの実施—

2007年7月25日

(社)日本経済団体連合会

1. 目的

地球環境問題と労働問題に関するこれまでの日本経団連活動をベースに、試験的な勤務時間の繰り上げ等を通じて、地球温暖化防止やワークライフバランス実現への取り組みを行う。

地球温暖化防止については、経団連会館内におけるエネルギー消費削減の様々な試みを行う。あわせて、職員の家庭での取り組みを奨励する。

ワークライフバランスについては、勤務時間の1時間繰り上げと業務の効率化等を進め、日没前の帰宅を実現し、例えば、地域社会活動等への参加、家族の対話・きずなの強化等を推進する。

以上の取り組みを通じて、今後のいわゆるサマータイム制度導入の機運作りに活用する。なお、会館事業部分は通常の営業を継続する。

2. 実施概要

(1) 名称

「エコワーク月間」

(2) 実施期間

2007年8月1日(水)～8月31日(金)

(3) エネルギー消費削減の取り組みの例

- ・冷房の稼働時間の短縮
- ・照明時間の短縮
- ・エレベータの稼働時間の短縮
- ・OA機器等の節電
- ・家庭での省エネ運動の奨励 など

(4) 定時退社(通常より1時間繰り上げ)、夏季休暇取得等の実施

以上

エコワーク月間の結果について

2007年9月7日
日本経団連総務本部

1. 炭酸ガス排出量（エネルギー消費量から算出）

	炭酸ガス排出量（経団連会館2～8階）	
		外気負荷調整
2007年8月	112.8トン	107.3トン
前年同月との比較 （増減率）	▲6.0トン （▲5.0%）	▲11.5トン （▲9.7%）
2006年8月	118.8トン	

（注） 外気負荷調整は今夏の外気温度が昨年並みであったと仮定して算出。
（2006年8月の平均気温27.5度、2007年8月の平均気温29.0度）

2. 残業時間

	総時間数
2007年8月	1129：05
前年同月比	▲7.2%
2006年8月	1216：40

（注） 国際第二本部は8月18日までエコワークに参加していないため対象外。

以 上